



お答えいただいたのは…



君島乳腺クリニック  
院長 君島伊造先生

昭和28年、福島市生まれ。同53年、福島県立医科大学を卒業後、同大学第2外科入局。昭和62年、同科 乳腺グループチーフ、以降、乳がんの臨床、研究に従事。北福島医療センターを経て、令和4年に小島元子医師のクリニックを承継して「君島乳腺クリニック」を開院。

## 乳がん検診

自治体による乳がん検診はマンモグラフィだけで行われます。これは、乳がんの死亡率を低下させることが証明されている検診方法が、現時点でマンモグラフィしかないので、以前は視触診による検診が行われていました。乳がん死亡率の減少効果は証明されませんが、マンモグラフィ検診の効果は年齢によっても異なり、閉経

マンモグラフィ検診は乳がんの死亡率を低下  
しかし、マンモグラフィで分からない乳がんも

前後よりも高齢者で特に有効です。わが国では40歳以降の症状のない女性を対象にしています。乳がん検診は医学的な見地のほかに市の予算など、他のさまざまな要因も加味して実施対象者、



検診の間隔などが決められています。一方、ドック検診の方法は実施施設で自由に決められるため、医学的には最良の方法でない場合もあります。

マンモグラフィ検診を受ける意味は、「検診を受けていけば、乳がんで亡くなる率は低くなる」ということですが、マンモグラフィで分からない乳がんもあります。したがって、「異常なし」の意味は「マンモグラフィで分かる範囲では異常所見はなかった」であることに注意が必要です。検診で異常なしの結果が届いたあとも、自分で乳房の異常に気付いた場合

には、速やかに専門施設を受診してください。超音波検査は乳がん検診に有効(乳がんの死亡率を下げられる)というデータはまだないのですが、小さなシコリを見つけるには大変優れた検査です。ドック検診では、超音波やMRIによる乳がん検診が可能な施設もあります。がん検診と病院での一般診療では、同じ検査をしても、その意味合いは異なります。繰り返しになりますが、マンモグラフィによる乳がん検診は、継続して受ければ乳がんを落とす率を下げられますが、すべての乳がんを見つげられる検査ではない、ということをご理解ください。



君島乳腺クリニック

KIMIJIMA BREAST CLINIC

TEL024-528-8511

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30 (受付11:30まで)	君島	君島	小島	君島	君島	君島
14:00~17:00 (受付16:00まで)	君島	君島	/	君島	小島	/

君島 伊造: 乳腺外科 小島 元子: 内分泌内科

診療科目  
乳腺外科・内分泌内科  
休日診: 日曜日・祝日

君島乳腺クリニック

検索



福島競馬場